

安全運転

ほっと NEWS

2013年3月号

今月のクイズ

平成22年中の不慮の事故によって死亡した14歳までの子どものうち、交通事故はどれくらいの割合を占めているでしょうか？
(答えは裏面)

① 約1割 ② 約3割 ③ 約6割

(厚生労働省「人口動態統計」を参照)



TOKIO MARINE
NICHIDO

子ども達を交通事故から守るために

平成23年中に起きた交通事故(※1)によって、114人の子ども(15歳以下)の命が奪われ、63,007人の子どもがケガをしました。死傷する子ども達は毎年減少傾向にあります。それでも0人になることはありません。未来ある子ども達を交通事故から守るために、私たちドライバーに何ができるのでしょうか？

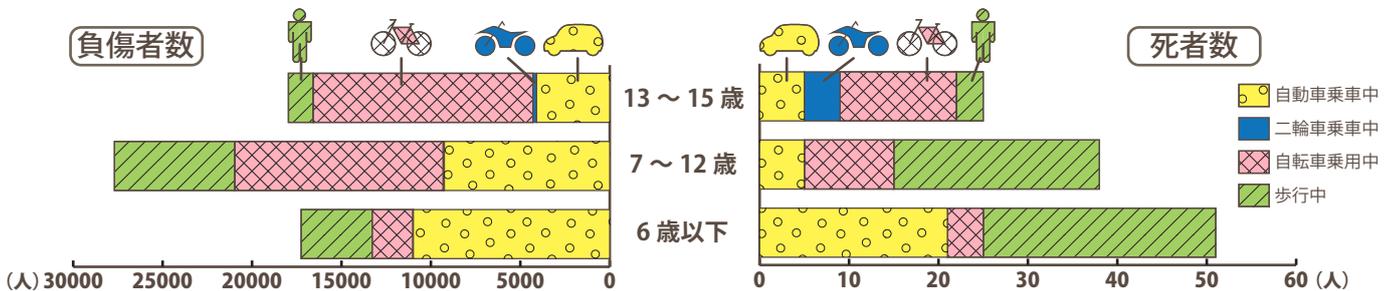
今月は、なぜ子どもの交通事故が起きるのかを、子どもの行動特性を考えることによって理解し、運転時に何に気をつければよいのかをみてみましょう。

(※1：警察庁「平成23年中の交通事故の発生状況」を参考に当社作成)

子どもの行動特性を理解しましょう

平成23年中に起きた子どもの交通事故を、年齢層と事故の状態(※2)に分けたグラフをみながら、未就学児、小・中学生の行動特性をみてみましょう。

年齢層別・状態別交通事故負傷者数/死者数(平成23年)(※2)



未就学児

6歳以下の未就学児の負傷者数をみると、自動車に乗車中の事故が多くなっています。大きなケガを防ぐためにも子どもを車に乗せるときは、体にあったチャイルドシートを選び、必ず装着しましょう。

また、死者数に目を移すと歩行中の事故が多くなっています。子どもは、目の前に興味をひくものが現れるとそちらに気が移ってしまい、他のことを見聞きする注意力が低下する傾向があります。そのため、車に気をつけることが頭から消えてしまい、興味のままに行動してしまうのです。



小学生・中学生

7～12歳の小学生の負傷者数は6歳以下に比べ約4割ほど増加します。7歳以上になると行動も活発になり、自転車乗用中の死傷者数が多くなり、13～15歳の中学生になるとさらに増加します。

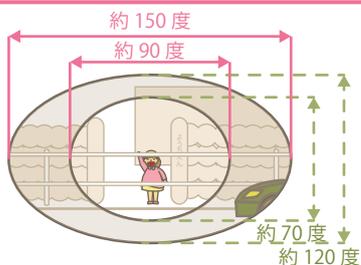
成長するにつれて、危険を認識し、的確な判断や回避する能力が徐々に備わってきますが、思春期前後になると自分は他人からどう見られているのかが気になり、「カッコよくみせたい」と周りの状況を考えずに自己中心的な行動をとる傾向が出てきます。

(※2：内閣府「平成24年版子ども・若者白書」(データ：警察庁)を参考に当社作成)

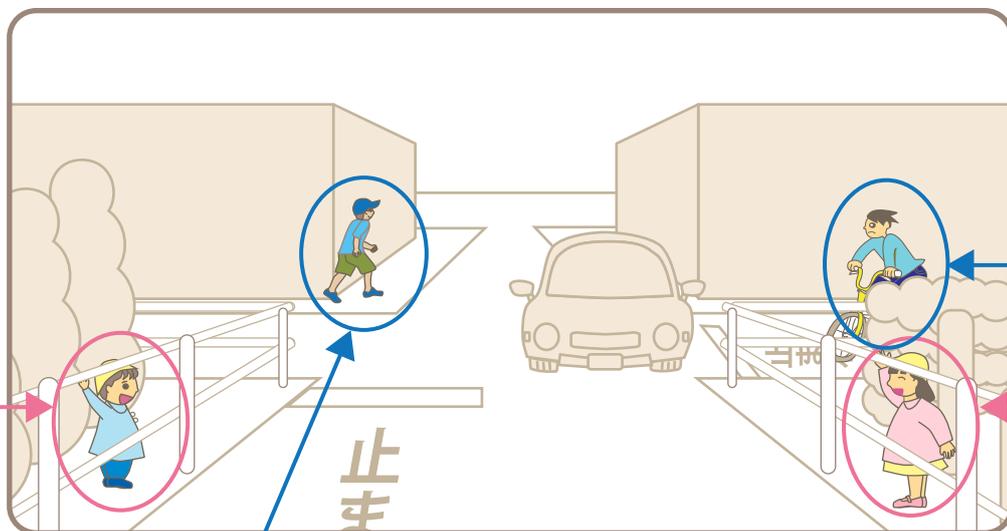
子どもがいる場所では慎重に運転しましょう

子どもの行動特性を踏まえて、どのようにしたら事故を回避することができるかをみてみましょう。

小さな子どもが道の向こうに友達を見つけたら、ガードレールがあっても道路に飛び出してしまいうことも十分に考えられます。学校の周辺や住宅街など子どもが多そうな場所を通るときや、走行中に小さな子どもを見かけたら、よりスピードを落とし、さらに慎重に運転しましょう。



未就学の子どもの目の位置は低く、視野も縦方向に約70度(大人は約120度)、横方向は約90度(大人は約150度)と狭く、近づいてくる車を容易に把握することができません。「子どもには自車が見えていないかもしれない」と考えて運転しましょう。



活発で元気な小学生の男子の事故件数は、女子の約2.3倍(東京都内のデータ※3)になります。道端でふざけあって車道に飛び出してしまうなど、周囲をよく見ずに行動する危険がありますので、十分に注意して運転しましょう。

子どもの運転する自転車が一時停止や安全確認を怠り、出会い頭で車と衝突する事故が多く発生しています。(東京都内のデータ※3)「自転車が出てくるかもしれない」「自転車は止まらないかもしれない」と考え、交差点での一時停止、徐行と安全確認を実行しましょう。

(※3: 警視庁「子どもの交通人身事故発生状況～平成24年上半年～」を参考に当社作成)

小さな子どもは興味があることに気が移ってしまいます。また、思春期前後になると、他人から自分がどう見られているかが気になり、自己中心的な行動をしてしまうことがあります。

子どもが多そうな場所を走行するときや子どもを見かけたら、よりゆっくりと、さらに慎重に運転しましょう。

今月のクイズの答え

②約3割 平成23年中の不慮の事故には、大災害の死者数が含まれており、通年の全体に占める交通事故での死者数の割合と異なるため、平成22年中のデータを使用いたしました。

ご用命・ご相談は...

「やすらぎ」の設計が私たちの使命です...

保険システム株式会社
INSURANCE SYSTEM CO., LTD

〒950-0087
新潟市中央区東大通2-4-1 新潟パナソニックビル6F
TEL 025-243-7374 FAX 025-243-0921
E-MAIL yasuragi@hokensystem.co.jp
URL http://www.hokensystem.co.jp



東京海上日動火災保険株式会社

企業営業開発部

〒100-8050 東京都千代田区丸の内 1-2-1

TEL 03-5288-6589 FAX 03-5288-6590

URL <http://www.tokiomarine-nichido.co.jp/>

担当営業課